



2019 年 6 月 3 日

Audi RS 3 LMS、富士 SUPER TEC 24 時間レースでクラス優勝

- Audi RS 3 LMS で参戦の Team DreamDrive がクラス優勝。RS 3 LMS は 2 年連続優勝を果たす
- 1 台の Audi R8 LMS と 4 台の Audi RS 3 LMS が参戦

アウディ ジャパン株式会社（本社：東京都品川区、代表取締役社長：フィリップ ノアック）は、スーパー耐久シリーズ ST-X クラスに Audi R8 LMS で参戦するカスタマー（プライベート）チームならびに ST-TCR クラスに Audi RS 3 LMS で参戦する 4 チームをサポートしています。5 月 31 日（金）～6 月 2 日（日）に、富士スピードウェイ（静岡県 1 周 4,563m）でスーパー耐久シリーズ第 3 戦となる「富士 SUPER TEC 24 時間レース」が開催されました。

「富士 SUPER TEC 24 時間レース」は、昨年、富士スピードウェイでは 50 年ぶりに開催された 24 時間レースで、前回の盛況をうけ今年 2 回目となります。参戦クラスは、最上位となる ST-X をはじめ、欧州などでも人気の ST-TCR など 8 つに分類され、計 48 台が参加。各チーム 3～6 名のドライバーがエントリーし、交替で 24 時間後のゴールを目指しました。予選・決勝の 3 日間で、昨年を上回る、延べ 36,100 人もの観客が来場しました。

ST-TCR クラスへ Audi RS 3 LMS で参戦したのは、#19 BRP（バースレーシングプロジェクト）、#22 WAIMARAMA KIZUNA（ワイマラマ キズナ）、#45 Team DreamDrive（チームドリームドライブ）、#65 Audi Team Mars（アウディ・チームマーズ）の計 4 チームです。また、最上位である ST-X クラスには、#83 X Works（エックス ワークス）が Audi R8 LMS で参戦しました。

ST-X クラス予選では、#83 X Works が 3 番手タイムを記録。2 列目グリッドからのスタートに期待が高まりました。ST-TCR クラスでは、#22 WAIMARAMA KIZUNA がクラス 3 位でアウディ勢のトップを獲得。クラス 7 位が #19 BRP、8 位が #45 Team DreamDrive、9 位が #65 Audi Team Mars の順で続きました。

6 月 1 日（土）15 時、晴れ渡った青空に富士山を臨む晴天のもと決勝レースがスタート。ところが、スタート直前、ST-X クラスの #83 X Works Audi R8 にクラッチトラブルが発覚し、ピットスタートを余儀なくされます。修復作業に約 23 分を要し、13 周遅れで最後尾からのスタートとなりました。

一方、ST-TCR クラスでは、スタート直後の 1 周目に、#45 Team DreamDrive と #65 Audi Team Mars の Audi RS 3 LMS 同士の接触事故が発生し、足回りの不調が発覚した #65 Audi Team Mars はピットインして修復作業を実施、大きく順位を落としてしまいました。一方の #45 Team DreamDrive は、接触によって一度は大きく順位を落とすもそこから猛烈な追い上げをみせ、レース開始後、3 時間が経過した頃には、クラス 3 位、アウディ勢ではトップにのぼりつめ、#22 WAIMARAMA KIZUNA がクラス 5 位、#19 BRP がクラス 7 位で続きます。

レーススタートから 4 時間が経過した頃には日が暮れ始めました。ナイトセッションでは、コースに設置された夜間照明が灯り、各車は一斉にヘッドライトを点灯します。

レーススタートから約 9 時間、深夜 0 時半頃、最後尾スタートとなった #83 X Works R8 は着実に周回を重ね、ST-X クラスの 4 位、総合でも 4 位に追い上げをみせていました。ST-TCR クラスでは、#45 Team DreamDrive がクラストップに浮上、総合でも 7 位につけました。#22 WAIMARAMA KIZUNA がクラス 5 位、

#65 Audi Team Mars がクラス 8 位、また他車との接触によって足回りにダメージを受けた#19 BRP が駆動系の修復を経てクラス 9 位で、ナイトセッションを粘り強く走行します。

夜が明けた午前 6 時頃、#83 X Works R8 は着実に総合 4 位を走行。#45 Team DreamDrive はクラストップをキープし、総合でも 6 位に浮上しました。一方で、クラス 5 位につけていた#22 WAIMARAMA KIZUNA がクラス 7 位にまで後退。#65 Audi Team Mars がクラス 6 位へと順位をあげました。#19 BRP はクラス 8 位で、1 つ前をいく#22 WAIMARAMA KIZUNA を追う展開となりました。

レーススタートから 18 時間後、#83 X Works R8 がエンジントラブルで度々ピットインを余儀なくされ、総合 7 位にまで順位を落としました。#45 Team DreamDrive は順調に周回を重ね、クラストップ、総合でも 6 位をキープし続けています。続く、#65 Audi Team Mars はクラス 5 位、#22 WAIMARAMA KIZUNA がクラス 6 位、#19 BRP はクラス 7 位でした。

レース残り 3 時間を切った午前 10 時すぎ、#83 X Works はエンジントラブルが収まらず緊急ピットイン。カウルや排気系をはずしての懸命のピット作業が続いていました。一方 ST-TCR 勢は順調に周回を重ね、#45 Team DreamDrive はクラストップをキープ。#65 Audi Team Mars はクラス 4 位、#22 WAIMARAMA KIZUNA がクラス 5 位、#19 BRP はクラス 6 位と、それぞれのチームが順位をあげました。

残り 2 時間を切ったところで、#83 X Works R8 がコースに復帰。しばらく周回を重ねていましたが、残り 1 時間 20 分をすぎた頃、コース上でマシンが動けなくなり、フルコースイエローが出され、マシンは回収されました。チームは最後まで懸命に復旧作業を続けましたが、コースへ戻ることはできず、完走扱いとなる規定周回まで残りわずか 6 周というところで無念のリタイヤとなりました。

6 月 2 日 (日) 午後 3 時、長い 24 時間レースのゴールの瞬間が訪れました。ST-TCR クラスでは、大きなトラブルなく走り続けた#45 Team DreamDrive がクラス優勝。Audi RS 3 LMS としては 2 連覇となりました。クラス 4 位に#65 Audi Team Mars、5 位に#22 WAIMARAMA KIZUNA、6 位に#19 BRP が入り、ST-TCR クラスでは、参加 4 台の Audi RS 3 LMS 全てが完走し、信頼性の高さを裏付ける結果となりました。

ST-TCR クラス優勝 #45 Team Dream Drive 代表 竹田 直人氏のコメント

「当初は 4 人で参加する予定でしたが急遽都合が悪くなり、ルマンもデイトナも有名な 24 時間レースは 3 人で走っているのだから、と思い直しいつもの 3 人で臨みました (全 48 チームで唯一 3 人でエントリー)。とにかく慌てずにコツコツと一人あたり 1 時間 40 分のロングスティントを繰り返す作戦でした。実はこまかなトラブルはいくつも発生しましたが、みながうまく対処してくれてペナルティも大きなミスもなく、最高の結果ができました。正直勝てるとは思っていませんでしたが、本当に幸せなレースができました。壊れないクルマを作ってくれたチームのみんなに感謝します。今シーズンはチームの調子もいいので、シリーズチャンピオンを目指して頑張っていきたいと思います」

アウディ ジャパンは 2016 年以來、ボディ、トランスミッション、エンジン等レース車検に適合した約 2500 アイテム、10,200 点もの部品を積載した Audi Sport customer racing パーツトレーラーを配備。いかなるレース展開にも対応できるよう準備を整え SUPER GT やスーパー耐久に参戦するチームと共に全国のサーキットを転戦しています。このサポートを通じ Audi Sport のブランド認知の向上を図ります。